

コロナ差別がゼロのまち宣言

『3つの宣言と3つのお願い』

名寄市では市民の皆さまの安全・安心な暮らしを守るため、以下のとおり取り組むことを宣言します。

新型コロナウイルス感染症に関する差別から人々を守るため、市民の皆さまに3つのお願いがあります。

宣言1 感染者や医療従事者等の人権を守ります。

～感染者や医療従事者等は、守られるべき存在です～

宣言2 風評被害を防ぎます。

～正しい知識や情報に基づいた、冷静な行動を～

宣言3 思いやりの気持ちを持って、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。 ～人を思いやる気持ちを忘れずに～



正しく理解し
思いやりある行動を

お願い 1 感染者や濃厚接触者やその家族、知人、医療従事者等に対して非難したり、誤解や偏見に基づく差別、いじめや誹謗中傷等をするのはやめてください。感染者等に関する個人情報や心ない書き込み等をインターネット・SNSに掲載・投稿することはやめてください。

お願い 2 正しい知識等をもとに、むやみに恐れることなく冷静に行動し、誤った情報や不確かな情報を拡散することはやめてください。

お願い 3 闘うべきは人ではなく新型コロナウイルスです。「もし自分が感染したら」と考え、市民一人ひとりがお互いを思いやる気持ちを忘れずに、行動してください。

「北海道スタイル」を実践し、感染予防の徹底に努めてください。

すべての市民が心をつにし、一丸となって、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっていきましょう。

令和2年12月2日

名寄市長 加藤 剛士